

このたびは、弊社製品をお買上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

## 安全上のご注意

施工、使用(操作・保守・点検)の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

<b>⚠ 危険</b>	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。
<b>⚠ 注意</b>	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、および物的損害だけの発生が想定される場合。

● お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

- ⚠ 気をつけていただく内容です。
- ⊘ してはいけない内容です。
- ❗ 実行しなければならない内容です。

なお、**⚠ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

## ■施工上のご注意

<b>⚠ 危険</b>					
⊘	有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。				
❗	工事・点検時は電源や信号を OFF 状態にして作業を行ってください。感電および短絡による人身事故のおそれがあります。				
❗	<p>導電部の接続ねじは適正締付トルクで確実に締付けてください。また、工事終了時に全ての導電部のねじを必ず増締めするとともに、定期的を増締めしてください。ねじがゆるんでいると発熱、火災のおそれがあります。</p> <p>適正締付トルク</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>締付トルク N・m</th> </tr> <tr> <td>M6</td> <td>3.0~4.0</td> </tr> </table> <p>※機器端子部は機器の締付トルクによる。</p>	ねじの呼び	締付トルク N・m	M6	3.0~4.0
ねじの呼び	締付トルク N・m				
M6	3.0~4.0				

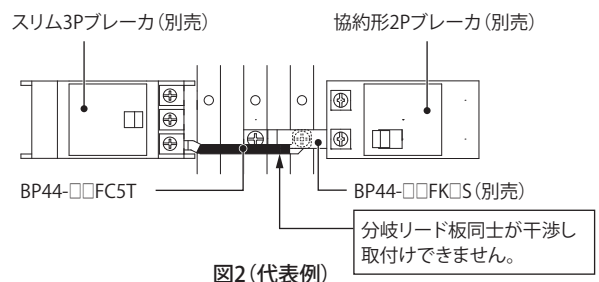
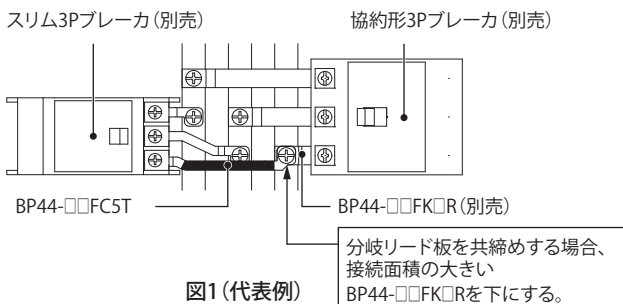
<b>⚠ 注意</b>	
⚠	改造などしたことにより生じた事故については、一切責任を負いません。

## ■使用上のご注意

<b>⚠ 注意</b>	
⊘	分岐リード板に取付けてある絶縁チューブを傷つけないようにしてください。短絡事故の原因になります。
❗	分岐リード板は必ず適用ブレーカのみで使用してください。適用外のブレーカに使用すると接続不良により発熱・出火・短絡事故の原因となります。
❗	分岐リード板の刻印側を表向きにし、正しくブレーカに接続してください。短絡事故の原因となります。
⊘	<p>次のような場所では使用しないでください。感電・火災の原因となったり、錆・腐食・割れが発生するおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高温、高湿となる場所</li> <li>・腐食性ガスのある場所</li> <li>・可燃性ガスのある場所</li> <li>・可燃性ガスが漏れるおそれのある場所</li> <li>・振動、衝撃のある場所</li> <li>・有機溶剤、切削油、薬品などのかかる場所</li> <li>・塩分を多く含んだ環境</li> <li>・極度に塵埃やオイルミストが多い場所</li> <li>・導電性粉塵(カーボン繊維、金属粉)のある場所</li> <li>・水滴のかかる場所</li> </ul>

## ■その他のご注意

- BP44-10FC5□を幅 15mm より大きい銅バーに使用しないでください。スリム 3P ブレーカ外形と銅バーが干渉し、取付できません。(P2. 構成例参照)
- 分岐リード板の組合せは対面のブレーカが同機種、同極数であることを推奨しています。
  - ・分岐リード板を重ねて共締めする場合は接続面積の大きいものを下にしてください。(P1. 図 1 参照)
  - ・分岐リード板が干渉する取付けはしないでください。(P1. 図 2 参照)
  - ・負荷バランスを考慮する際に、「他機種組合せ一覧(P3~4)」の組合せ以外は接続できません。



## 機種・寸法

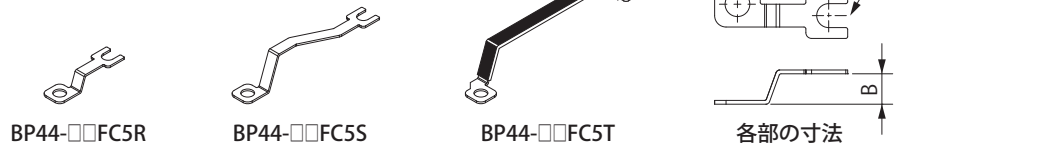
### 分岐リード板

品名記号	寸法 mm			断面積 mm <sup>2</sup>	分岐容量 A	定格電圧 V	適用ブレーカ	適用二次分岐セット	刻印					
	A	B	板厚											
BP44-10FC5R	24	9	1	6	最大50*1	200	スリム3P ブレーカ (NX・GX)	主幹ブレーカ100A用 銅バー間ピッチ:30mm (BP43-102B, -112B)	1FC6R					
BP44-10FC5S	54	18							1FC6S					
BP44-10FC5T	84	8							1FC6T					
BP44-20FC5R	29	9						6	最大50*1	200	スリム3P ブレーカ (NX・GX)	主幹ブレーカ200A用 銅バー間ピッチ:35mm (BP43-202B, -212B)	2FC6R	
BP44-20FC5S	64	18											2FC6S	
BP44-20FC5T	99	8											2FC6T	
BP44-40FC5R	35	21										4	400A用 銅バー間ピッチ:44mm (BP43-402B, -412B)	4FC6R
BP44-40FC5S	79	30												4FC6S
BP44-40FC5T	123	20												4FC6T

\*1.分岐導体(分岐リード板)の許容電流はJISC8480「キャビネット形分電盤」温度試験結果により定めています。  
適用ブレーカ以外には使用しないでください。

### 1セット内容

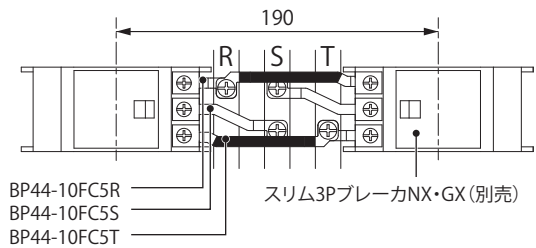
部品名	数量
分岐リード板	20コ
3点セムスねじM6×14	20本
取扱説明書(本紙)	1部



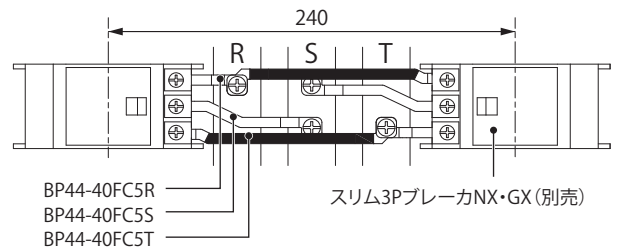
## 推奨組付配置

分岐リード板の組合せは対面のブレーカが同機種・同極数であることを推奨しています。(下図参照)

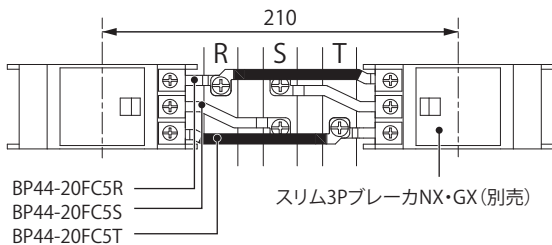
### ●主幹 100A 用分岐リード板配置



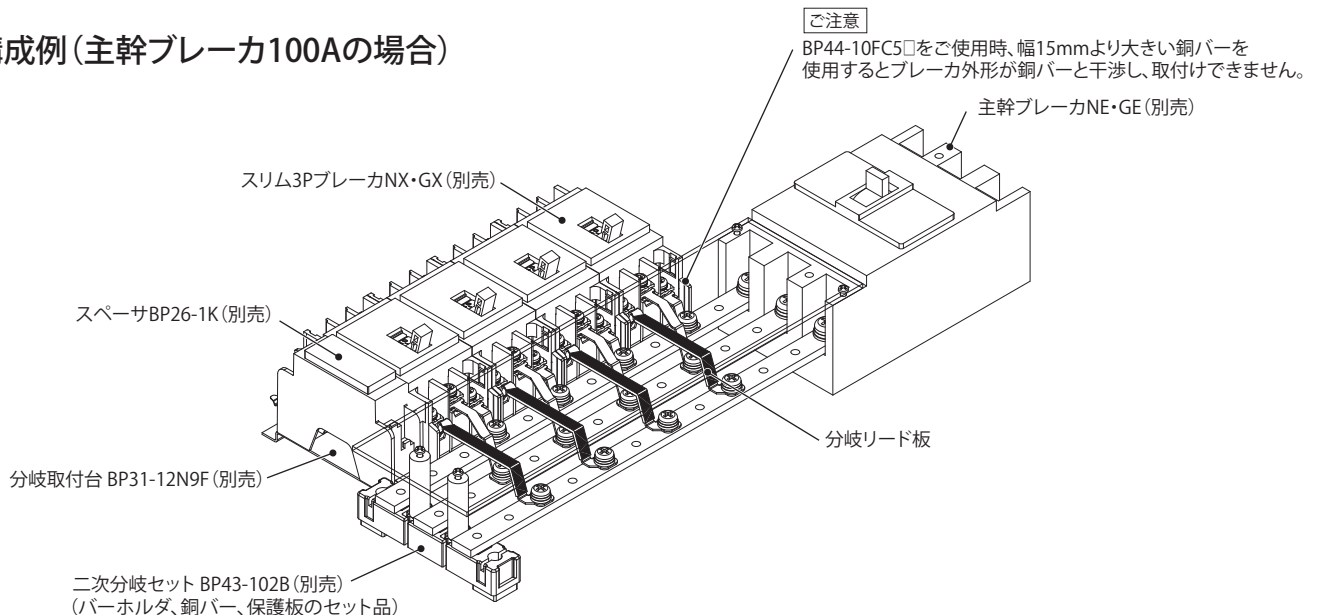
### ●主幹 400A 用分岐リード板配置



### ●主幹 200A 用分岐リード板配置



## 構成例(主幹ブレーカ100Aの場合)



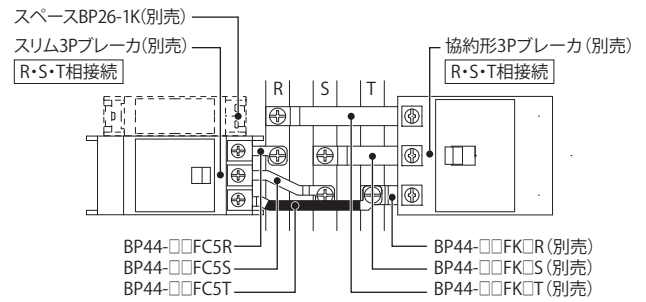
## ■他機種組合せ一覧

対面に他機種ブレーカを組合せて配置する場合、ブレーカ配置および接続は次のように行ってください。

### スリム3Pブレーカ左側配置

#### 【協約形3Pブレーカとの組合せ】

分岐ブレーカ種類	接続相	備考
スリム3Pブレーカ	R-S-T	協約形3PブレーカのS-T相対面に配置
協約形3Pブレーカ	R-S-T	-



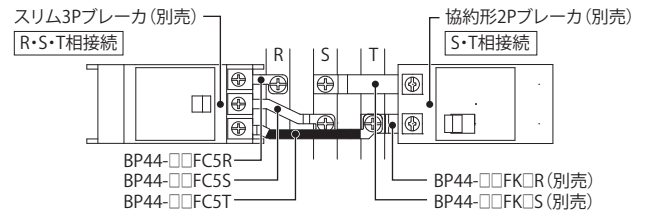
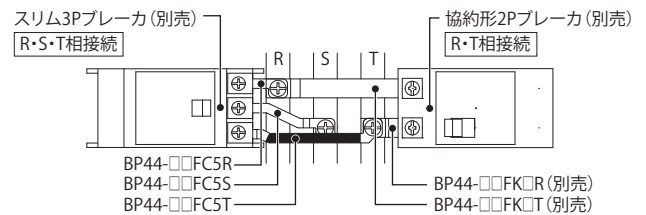
#### 【協約形2Pブレーカとの組合せ】

##### 【ご注意】

接続できない組合せがあります。  
(協約形 2P ブレーカ R-S 相の接続など)  
協約形 2P ブレーカで負荷バランスを  
とる際はご注意ください。

分岐ブレーカ種類	接続相
スリム3Pブレーカ	R-S-T
協約形2Pブレーカ	R-T

分岐ブレーカ種類	接続相
スリム3Pブレーカ	R-S-T
協約形2Pブレーカ	S-T



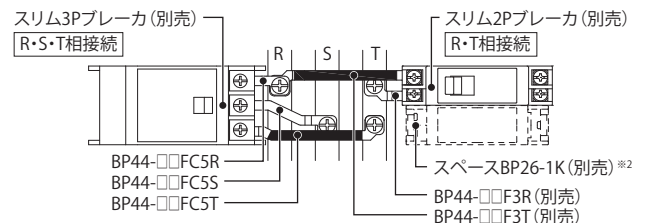
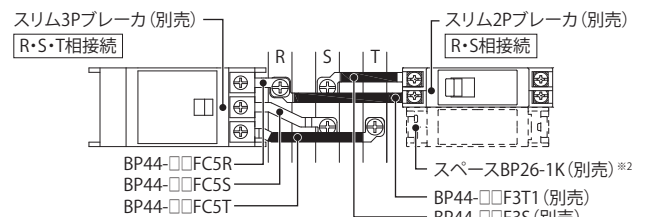
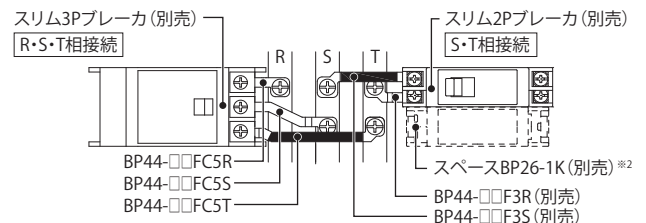
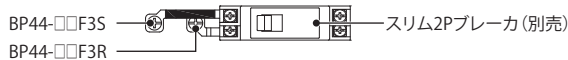
#### 【スリム2Pブレーカとの組合せ】

分岐ブレーカ種類	接続相	備考
スリム3Pブレーカ	R-S-T	-
スリム2Pブレーカ	S-T	スリム3PブレーカのR相対面に配置
スペース※2	-	スリム3PブレーカS-T相のみ接続可能

分岐ブレーカ種類	接続相	備考
スリム3Pブレーカ	R-S-T	-
スリム2Pブレーカ	R-S	スリム3PブレーカのR相対面に配置
スペース※2	-	スリム3PブレーカS-T相のみ接続可能

分岐ブレーカ種類	接続相	備考
スリム3Pブレーカ	R-S-T	-
スリム2Pブレーカ	R-T	スリム3PブレーカのR相対面に配置
スペース※2	-	スリム3PブレーカS-T相のみ接続可能

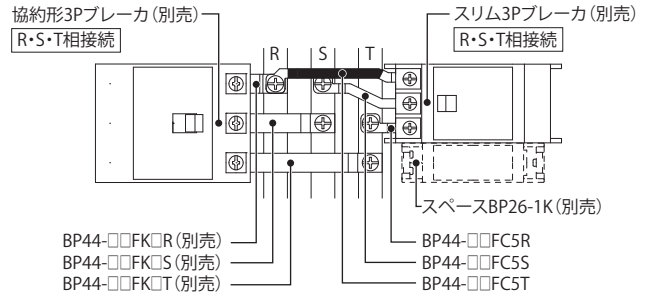
※2. スリム2PブレーカS-T相接続



## スリム3Pブレーカ右側配置

### 【協約形3Pブレーカとの組合せ】

分岐ブレーカ種類	接続相	備考
スリム3Pブレーカ	R-S-T	協約形3PブレーカのR-S相對面に配置
協約形3Pブレーカ	R-S-T	-



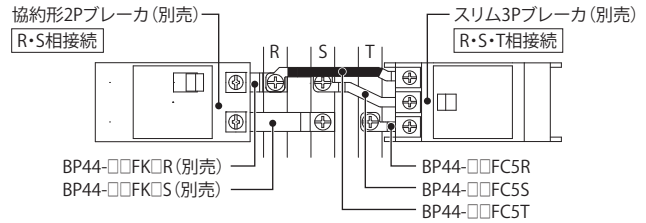
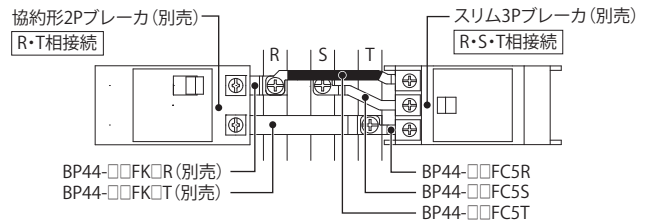
### 【協約形2Pブレーカとの組合せ】

分岐ブレーカ種類	接続相
スリム3Pブレーカ	R-S-T
協約形2Pブレーカ	R-T

#### ご注意

接続できない組合せがあります。  
(協約形 2P ブレーカ S-T 相の接続など)  
協約形 2P ブレーカで負荷バランスを  
とる際はご注意ください。

分岐ブレーカ種類	接続相
スリム3Pブレーカ	R-S-T
協約形2Pブレーカ	R-S



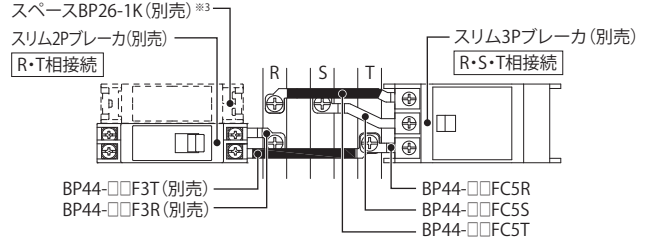
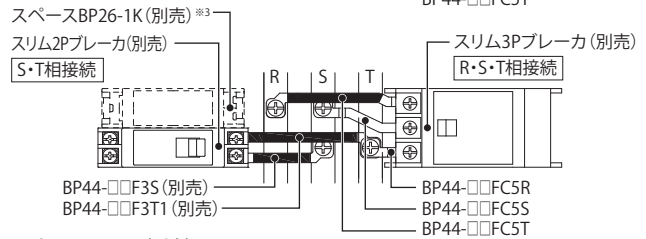
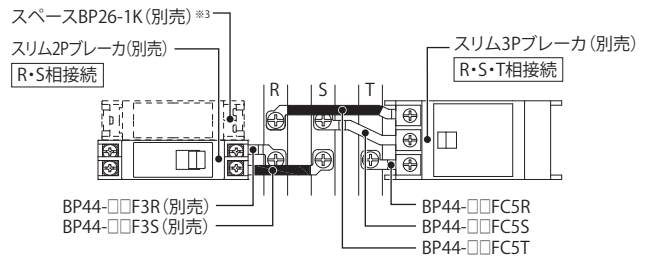
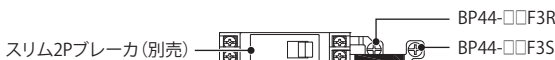
### 【スリム2Pブレーカとの組合せ】

分岐ブレーカ種類	接続相	備考
スリム3Pブレーカ	R-S-T	-
スリム2Pブレーカ	R-S	スリム3PブレーカのT相對面に配置
スペース <sup>*3</sup>	-	スリム3PブレーカR-S相のみ接続可能

分岐ブレーカ種類	接続相	備考
スリム3Pブレーカ	R-S-T	-
スリム2Pブレーカ	S-T	スリム3PブレーカのT相對面に配置
スペース <sup>*3</sup>	-	スリム3PブレーカR-S相のみ接続可能

分岐ブレーカ種類	接続相	備考
スリム3Pブレーカ	R-S-T	-
スリム2Pブレーカ	R-T	スリム3PブレーカのT相對面に配置
スペース <sup>*3</sup>	-	スリム3PブレーカR-S相のみ接続可能

<sup>\*3</sup>スリム2PブレーカR-S相接続



仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。  
また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。  
この説明書の内容は 2017 年 9 月現在のものです。

B966639001